

2023年度南山大学大学院法務研究科法務専攻

＜専門職学位課程＞ 入学試験 C日程

(2023年2月25日実施)

試験科目：法律科目試験・刑法

配点：100点

次の問題文を読み、設問Ⅰ・Ⅱに答えなさい。

【問題文】

1. Xは妻Yと離婚調停中であつたが、親権をめぐり係争中であつた。二人の長女A(10歳)はYが引き取り、Yの実家でYとその両親が面倒を見ていた。
2. Xは自ら起業し、IT関係の会社の代表取締役として会社の経営を担っていたため、十分な収入もあり、Aの親権は自分が持つべきであると考えていたが、Yの同意を得られなかったため、自分に有利になるような対応を考えていた。
3. Xは、知人のZが金策に苦慮していたことから、Zに、「Aと会いたいので、下校時にAを自動車で自分のところまで連れてきてほしい。その対価として100万円用意しておく。」と申し伝えたところ、Zは即座にXの依頼を引受けた。Xは、Aは自分にとっては大切な娘なので、くれぐれも慎重に扱ってくれるように申し向けた。
4. Zは、Aが通学している小学校の門前でAに声をかけ、自分はXの友達で、XからAを連れてくるように依頼されると伝えたところ、Yとの生活が嫌になっていたAは喜んで承諾し、Zの車に乗り込んだ。
5. Zは、自動車の運転中、突然、眠気を催し、睡眠状態で対向車線にはみ出したところ、Mが運転する自動車と正面衝突し、ZとAは全治1か月の重傷を負った。Zは入院中の検査で、睡眠時無呼吸症候群の状態であったことが判明した。事故原因となった突然の睡魔も睡眠時無呼吸症候群に起因すると判断されたが、Zは自分がこの疾患に罹患していることは認識していなかった。

設問Ⅰ XとZがAをXのところに連れてこようとした行為について、XとZの罪責を論じなさい。

設問Ⅱ Zが自動車事故を起こした結果、Aに全治1か月の重傷を負わせたことについて、Zに過失運転致傷罪の責任を問うことができるか検討しなさい。

2023年度南山大学大学院法務研究科法務専攻

＜専門職学位課程＞ 入学試験 C日程

(2023年2月25日実施)

試験科目：法律科目試験・憲法

配点：100点

以下の文章（フィクション）を読み、【設問】に答えなさい。

安心・安全で快適なまちづくり N市条例では、安心、安全なまちづくりを推進するために同市内の公共的団体（学区連絡協議会、商店街振興組合、防犯協会など）は、犯罪の防止に配慮したまちづくりの推進に努めることとされている。これを受けて、最近、ひったくりや万引きなどの事件が立て続けに何件も続いていたので、N市の市長 X は、そのような犯罪がこれ以上起こらないようにするために、同市内の公共の場所（道路・公園・公会堂など）のいたるところに防犯カメラを設置し継続的に録画し、記録する措置を取ることとした。そして、これを実行するために X は、そのためのガイドラインを作成しようとしている。

【設問】

市長 X は、上記ガイドラインの作成に当って、憲法上の問題がないように、細心の注意を払うつもりだが、どのような点が批判される可能性があるか。考えられる憲法上の論点を挙げ、論じなさい。

2023年度南山大学大学院法務研究科法務専攻

＜専門職学位課程＞ 入学試験 C日程

(2023年2月25日実施)

試験科目：法律科目試験・商法

配点：100点

次の文章を読んで、各設問に答えなさい。

Y株式会社（以下「Y社」という）は、東京証券取引所の上場会社である。Y社の定款では、取締役の員数は8名以内、監査役の員数は4名以内である旨が定められている。

取締役8名、監査役3名については、令和4年6月の定時株主総会（以下「本件株主総会」という）で後任者を選任することが予定されている。

Y社の株主であるXは、令和4年4月19日、株主提案権を行使し、A1からA8を候補者とする取締役会選任の件（第4号議案）、およびB1・B2を候補者とする監査役選任の件（第5号議案）（以上を「株主提案」という）を本件株主総会の目的とすることを請求した。なお、XとY社との間では、経営権の獲得を巡って争いが生じている。

Y社は同年6月11日、全株主に対し、招集通知・議決権行使書面（以下「本件書面」という）を発送した。そこには会社提案として、C1からC8を候補者とする取締役会選任の件（第2号議案）、B1・D1・D2を候補者とする監査役会選任の件（第3号議案）（以上を「会社提案」という）、および株主提案が記載されていた。

また、本件書面には、「各議案につき賛否の表示をされない場合は、会社提案については賛、株主提案については否の表示があったものとして取扱いたします。」「有効に議決権行使をした株主につき、500円相当額の商品券を贈呈いたします。」「各議案に賛成された方も反対された方も、また委任状により議決権を行使された株主様にも同様に贈呈いたします。」等の文章が記載されていた。

令和4年6月27日に本件株主総会が開催され、会社提案のみが可決承認（以下「本件決議」という）された旨が宣言された。

[設問1] 下線部の文言が、本件書面に記載されていたことの法的問題点について、論じなさい。

[設問2] Xは、本件決議をなかったことにしたいと考えている。その場合、Xは、どのような対応をすべきか、論じなさい。

2023年度南山大学大学院法務研究科法務専攻

<専門職学位課程> 入学試験 C日程

(2023年2月25日実施)

試験科目：法律科目試験・民法

配点：200点

以下のⅠおよびⅡに解答しなさい。

*解答の順序は問わないが、大問番号（ⅠまたはⅡ）および設問番号を明記すること。

*解答用紙は、大問ごとにページを分けて用いること。

Ⅰ 以下の文章を読んで、[設問1] および [設問2] に答えなさい。

多額の借金を抱えたAは、債権者からの差押えを回避するために、知人Bと共謀の上で、A所有の甲土地について、売買の予約をしたと偽装し、A名義からB名義へ仮登記を行なった。Aは、いずれはその名義を戻すことを考えていたが、約半年後、Bは、関係書類を偽造して、甲土地についてB名義の仮登記をAに無断でB名義の本登記に改めた。そのうえで、事情を知らないCに甲土地の購入を持ちかけ、Cとの間で売買契約を締結し、Cへの所有権移転登記を了した。

[設問1] この場合において、甲土地をめぐるAとCとの法律関係を述べよ。

[設問2] その後、Cは、AB間の上記のような事情を知ったDの強い要請に基づき、甲土地をDに転売し、その旨の登記を了した。この場合、甲土地をめぐるAとDとの法律関係を述べよ。

Ⅱ 以下の文章を読んで、[設問1] および [設問2] に答えなさい。

20XX年5月、資産家Aは、新たに建築するマンションのエントランスに飾るために、芸術家Bから、Bの代表作である陶製の壁画「甲」を2000万円で購入した（以下「本件売買契約」という。）。甲の引渡しは、20XX年12月1日の15時に当該マンションの建築工事現場において、A・B立ち合いの下で行うものとされ、その輸送は、美術品専門の運送会社Cに依頼する旨、取り決められた。

引渡日、BもC社のトラックも、約束の時間より少し前に建築工事現場に到着した。しかし、Aは、約束の時間になっても現れなかった。17時ごろようやくAと電話で連絡がついたが、Aは、Bに対して、「工事の進捗状況に遅れが生じているから、現場には甲を保管する場所がない。だから、今日は甲を受け取れない。」との説明を一方向的に述べるのみであった。そのため、BもC社のトラックもやむを得ず、19時ごろに建築工事現場を後にすることにした。

ところが、その帰路、甲を載せたC社のトラックが赤信号で停車中、後続車に衝突された。駆けつけた警察官が庫内を確認したところ、甲は粉々になっていた。

[設問1] Bは、Aに対して、本件売買契約に基づき、甲の代金を支払うよう請求することができるか、根拠条文を明確にして、論じなさい。

[設問2] Bは、甲の紛失・盗難・損傷に備えて保険をかけていたため、今後、D保険会社から保険金として1500万円が支払われる予定である。この場合のAB間の法律関係について、説明しなさい。

以上